

8/15 火

陸自のオスプレイ

防衛省が飛行再開

米の再発防止策適用確認

防衛省は14日、陸上自衛隊の輸送機V-22オスプレイが同日から飛行を再開したと明らかにした。米海兵隊が7月、米国で昨年発生したMV-22オスプレイ墜落事故の調査報告書を出したのを踏まえ、内容確認や機体点検などのため、飛行を見合わせていた。

同省によると、報告書を確認した結果、米側が示した再発防止策が陸自の機体に適用されており、安全性に問題ないと判断。防止策として挙げられた部品交換も、陸自では現段階で必要がなかった。関係自治体に14日以降の飛行再開の方針を伝えていた。

陸自はV-22オスプレイを17機導入する予定で、現在は14機を保有している。